

令和元（2019）年度 人権教育指導者専門研修報告

令和元年6月13日(木)～9月17日(火)

9月17日(火)をもちまして、6日間にわたった本年度の人権教育指導者専門研修が終了しました。講話、現地研修、栃木県社会福祉協議会（とちぎ福祉研究会）との合同開催の研修、そして、人権学習の授業の指導案や講座・研修計画の企画作成等のプログラムを実施しました。

受講者の皆さんは、自身の人権感覚を磨くとともに、それぞれの現場で人権教育をどのように推進していくかを考えながら、スキルの向上を図るため、意欲的に研修に取り組んでいました。

研修の主な内容は以下のとおりです。



ワークショップ

講話

「本県の人権教育推進の在り方」
総務課人権教育室長 旭山 久

事例発表

「市町における人権教育の取組」
足利市生涯学習課 二宮 靖行 氏

講話

講話「人権教育の視点」
宇都宮大学留学生・国際交流センター
副センター長 教授 湯本 浩之 氏



演習「参加体験型学習を
取り入れた人権教育」



現地研修「人権意識を高めようⅠ～施設の見学をとおして～」
栃木県中央児童相談所



演習「人権意識を高めようⅡ」
（とちぎ福祉プラザ）



協議

演習・研究協議
「人権学習を企画しようⅠ・Ⅱ」

発表



講話「人権社会が尊重された
社会をつくるために
～アイヌの人々の人権～」
宇都宮大学地域デザイン科学部
コミュニティデザイン学科
准教授 若園 雄志郎 氏



【受講者の感想】

- ・ 6回の研修をとおして、様々な人権について理解を深めることができました。校内においても、研修で学んだことを活かしていきたいと思います。
- ・ 毎回いろいろなテーマで人権について考え、学ぶことができ、知識を深めることができました。
- ・ 人権問題は目に見えない意識が一番解決しにくいと思いました。そういったところをどう教育で取り上げていくのか、とても考えさせられました。子どもたちと一緒に考えていく機会を作っていきたいです。
- ・ 教科、領域にとらわれずいろいろな授業場面において、人権教育の視点を生かし、子どもたちの中に人権に対する意識を育てたり、理解を促したり、人権尊重の態度を養ったりしていきたいと思います。
- ・ 人権教育についてもっと深く知りたい、学びたいと思っていたため、とても学ぶことの多い研修でした。人権感覚や人権意識について、文字からの知識だけでなく、私自身が体感することのできる研修であり、毎回研修が楽しみでした。
- ・ 学んだ知識をただ伝達するだけでなく、より分かりやすく、関心をもってもらえるように工夫するとともに、体験型学習のスキルを高め、自分自身を振り返って、今後の生き方について考えてもらえるような啓発活動につなげていきたいと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp